

論文審査の結果の要旨

報告番号	甲 先 第 388 号	氏 名	川瀬 公美子
審査委員	主査 上月 康則 副査 小川 宏樹 副査 中野 晋		
学位論文題目			
災害時におけるスクールカウンセラー派遣に関する支援体制の構築			
審査結果の要旨			
<p>東日本大震災や熊本地震等の大規模災害時にはスクールカウンセラーが被災地に派遣され、児童・生徒の心理的ケアが行われている。自らスクールカウンセラーとして、大規模災害時に支援者として被災地に赴き、その際に派遣側の支援体制や被災地の受援体制が不備なために、折角の支援が十分にできなかった反省を契機として、災害時におけるスクールカウンセラーの派遣方法について考究したものである。はじめに、スクールカウンセラー派遣に関する支援・受援体制の現状について既往のマニュアルの分析と派遣体験者を対象としたインタビュー調査を通して問題点を把握した上で、支援の実効性を高めるための手段としてアクションカードの提案とその有効性について提示した。次いで、外部支援を受け入れた学校関係者へのインタビュー調査、臨床心理士を派遣する側の全国の臨床心理士会事務局へのアンケート調査から、派遣されるカウンセラーの事前研修や支援側組織のコーディネーターの人員確保の必要性を指摘した。これらの考察を通して、受援体制として「ICS概念を活用した体制構築」を行うことで初動期の混乱回避が可能となること、「派遣されるスクールカウンセラーに対する事前研修」を行うことで支援者の果たすべき役割と支援者自身の心理的ケアが可能となること、「支援側の組織としての充足」を図ることでより良い支援が可能となることを提案した。</p> <p>上記の通り、本論文は大規模災害時に被災地の児童・生徒に対して、より良い心理的ケアを行うための支援・受援体制整備を図ることを目的としたもので時宜を得た有用な研究である。被災地の学校関係者、派遣体験者、支援者の派遣団体等へのインタビューとアンケート調査を綿密に実施するとともに、被災地での受援体制構築にICS（インシデントコマンドシステム）の準用方法を提案するなどスクールカウンセラーの効果的な派遣方法の提示に成功し、新規性、独創性についても十分な研究を成し遂げている。これより本論文は博士（工学）の学位授与に値するものと判定する。</p>			